

2010～2011年度
セキュリティ市場調査
の結果について

+2012年度

セキュリティ市場調査WG

グループリーダー 勝見 勉

2012年 1 月25日

Network Security Forum 2012

2010～2011年度の調査の概要 **JNSA**

JNSA独自・自主事業

目的:

- マーケットと産業の姿を示す
- 同じ統計ベースのデータを継続提供する
- 特に会員企業の事業参考用

調査概要:

- 調査活動期間: 2010年9月～現在も継続中
- 調査方法: アンケート調査 各種統計・調査資料の参照
企業の事業概要・規模推定(対象数: 約380社)
主要企業個別ヒアリング(対象数: 10社程度)
- アンケート調査: 2011年1～3月 会員企業限定 eメールベース
回収数: 約30/160件 回収率18%
- 調査対象期間: 2008, 2009年度実績 2010年度見込み 2011年度計画
2012年度予測(追加簡易調査)

2009年度までこう言っていました

経済産業省委託調査

目的: 情報セキュリティの供給側の統計データの収集

- 情報セキュリティの普及度・到達度を示す基礎データ
- 情報セキュリティ政策推進のベースとしての現状把握のための基礎資料
- 産業サイドの事業企画や新規参入計画の参考

調査概要:

- 調査・分析活動時期: 2009年6月～2010年2月
- 対象: 国内で情報セキュリティツール、サービスを提供する全事業者
- 調査方法: アンケート調査 各種統計・調査資料の参照
個別企業の事業概要・規模推定(対象数: 388社)
主要企業個別ヒアリング(対象数: 12社)
- アンケート調査: 期間: 2009年12月 郵送留置・郵送回収
発送数: 1045件 回収数: 137/133件 回収率13%
- 対象期間: 2007, 2008年度実績 2009年度見込み 2010年度計画
- 付帯調査: 国際比較 ユーザ側調査との比較
情報セキュリティをめぐる新しい動きの概観

市場区分の定義



2010年度は以下の見直しを行った。

「コンテンツセキュリティ対策製品」の中分類区分の統合整理(DLP独立、フィッシング統合)

「暗号製品」を大分類1本化「暗号化製品」に。

「コンサルテーション」「教育」市場の中分類区分の一部を統合

セキュリティツール	統合型アプライアンス	FW、IDS、ウイルス対策等複数機能を持ったアプライアンス
	ネットワーク脅威対策製品	FW、IDS/IPS、VPN、アプリケーションファイアウォール
	コンテンツセキュリティ対策製品	ウイルス対策、スパム対策、URLフィルタ、メールフィルタ、DLP等
	アイデンティティ・アクセス管理製品	認証、ログオン管理・アクセス許可、PKI製品
	システムセキュリティ管理製品	セキュリティ情報統合管理、ポリシー・アクティビティ管理ツール、脆弱性検査ツール 等
	暗号製品	暗号化製品、暗号モジュール
セキュリティサービス	情報セキュリティコンサルテーション	ポリシー構築、監査・診断等セキュリティ管理全般コンサルティング、規格認証取得支援サービス
	セキュアシステム構築サービス	ITセキュリティの設計、導入、製品選定等支援 等
	セキュリティ運用・管理サービス	マネージドサービス(ITセキュリティの監視、運用支援)、プロフェッショナルサービス、電子認証サービス 等
	情報セキュリティ教育	教育実施、コンテンツ提供、教育ASP、資格認定 等
	情報セキュリティ保険	情報セキュリティおよびITセキュリティ保険

国内情報セキュリティ市場規模の概観



年度別売上高推計値	2008年度		2009年度			2010年度			2011年度		
セキュリティ・ツール	売上実績推定値		売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値		
	金額	構成比	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率
統合型アプライアンス	20,880	5.6%	19,243	5.4%	-7.8%	18,963	5.4%	-1.5%	18,703	5.2%	-1.4%
ネットワーク脅威対策製品	56,003	15.1%	50,022	14.0%	-10.7%	48,515	13.7%	-3.0%	48,508	13.6%	0.0%
コンテンツセキュリティ対策製品	139,978	37.7%	137,622	38.5%	-1.7%	136,534	38.5%	-0.8%	137,250	38.5%	0.5%
アイデンティティ・アクセス管理製品	65,225	17.5%	64,269	18.0%	-1.5%	63,392	17.9%	-1.4%	64,191	18.0%	1.3%
システムセキュリティ管理製品	51,723	13.9%	48,589	13.6%	-6.1%	49,505	14.0%	1.9%	49,771	14.0%	0.5%
暗号製品	37,853	10.2%	37,351	10.5%	-1.3%	37,307	10.5%	-0.1%	38,339	10.7%	2.8%
セキュリティツール市場合計	371,663	100.0%	357,097	100.0%	-3.9%	354,216	100.0%	-0.8%	356,762	100.0%	0.7%

年度別売上高推計値	2008年度		2009年度			2010年度			2011年度		
セキュリティ・サービス	売上実績推定値		売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値		
	金額	構成比	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率	金額	構成比	成長率
情報セキュリティコンサルテーション	76,207	21.9%	72,166	22.2%	-5.3%	66,256	21.4%	-8.2%	60,545	20.7%	-8.6%
セキュアシステム構築サービス	147,679	42.5%	130,424	40.1%	-11.7%	122,206	39.4%	-6.3%	109,835	37.5%	-10.1%
セキュリティ運用・管理サービス	91,129	26.2%	90,113	27.7%	-1.1%	90,389	29.2%	0.3%	91,375	31.2%	1.1%
情報セキュリティ教育	24,981	7.2%	24,884	7.7%	-0.4%	23,900	7.7%	-4.0%	23,841	8.1%	-0.2%
情報セキュリティ保険	7,591	2.2%	7,377	2.3%	-2.8%	7,234	2.3%	-1.9%	7,244	2.5%	0.1%
セキュリティサービス市場合計	347,587	100.0%	324,964	100.0%	-6.5%	309,983	100.0%	-4.6%	292,840	100.0%	-5.5%

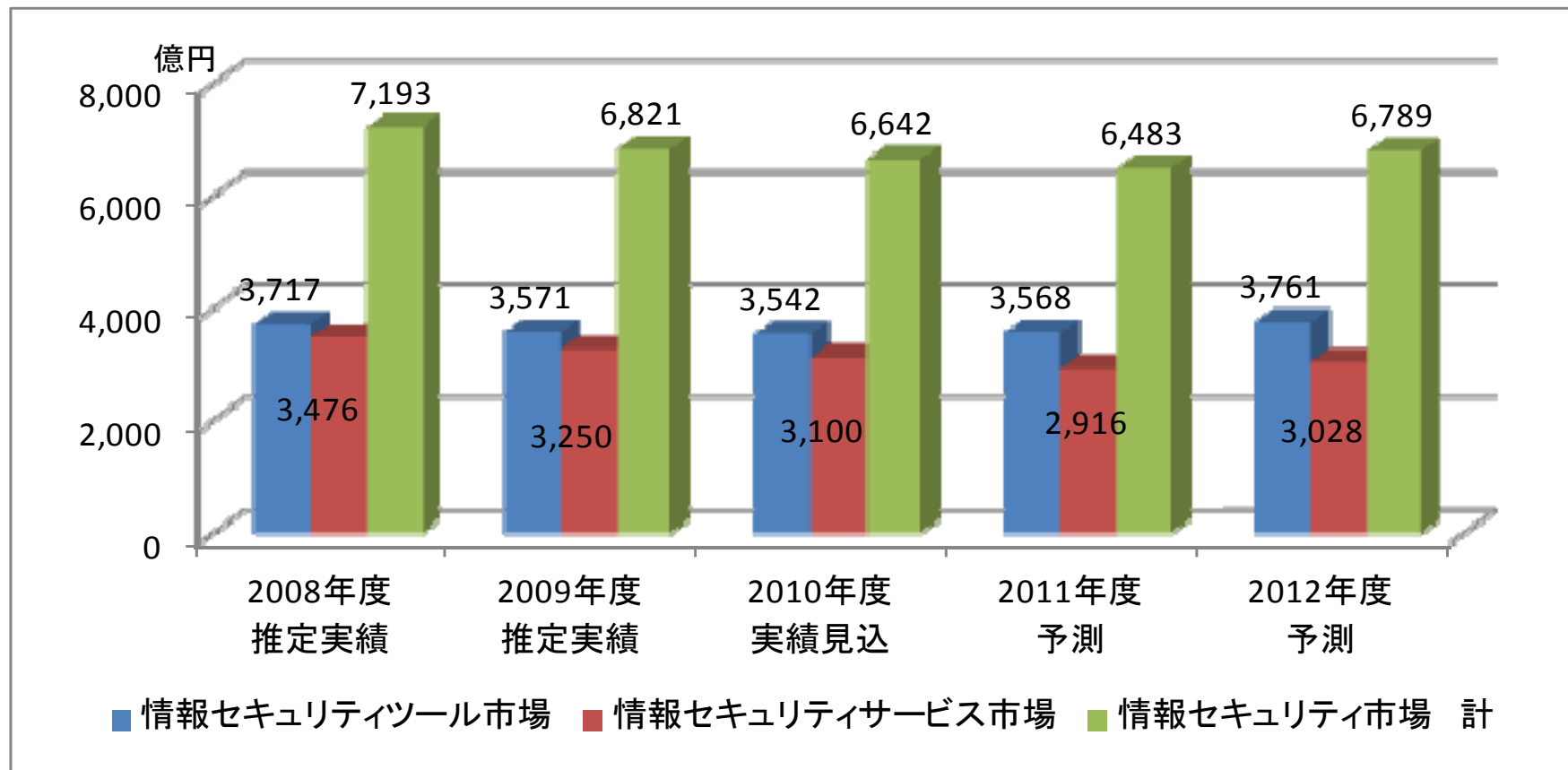
セキュリティツール+サービス	719,250	100.0%	682,061	100.0%	-5.2%	664,199	100.0%	-2.6%	649,602	100.0%	-2.2%
----------------	---------	--------	---------	--------	-------	---------	--------	-------	---------	--------	-------

- ✓国内情報セキュリティ市場は約7200億円規模から6500億円規模へ
- ✓うち、ツールは3500億円規模で安定。サービスは3500→2900億円へ
- ✓調査対象4年間の年平均成長率は、

セキュリティ市場合計:-3.4% ツール市場:-1.4% サービス市場:-5.7%

- ✓主因はサービス。構築とコンサル。構築は需要の絶対量の減少でなく、ビジネスモデルの転換。

国内情報セキュリティ市場規模の推移



IT関係の市場規模との比較



セキュリティとITの比較	2008年度	2009年度	2009/ 2008伸び率
	億円	億円	
セキュリティ出荷計	7,193	6,821	-5.2%
IT出荷計(JEITA)	72,898	65,098	-10.7%
PC出荷	9,758	8,858	-9.2%
MF, WS, Svr 出荷計	5,688	4,622	-18.7%
ソフトウェア	7,484	6,851	-8.5%
SI開発	27,502	24,152	-12.2%
BPOその他サービス	22,466	20,615	-8.2%
(SW,サービス計)	57,452	51,618	-10.2%
ネットワーク機器			
生産	6,361	5,320	-16.4%
輸入	3,927	3,546	-9.7%
輸出	2,103	1,824	-13.3%
国内出荷	8,185	7,042	-14.0%
IT+NW装置	81,083	72,140	-11.0%
セキュリティ市場の比率			
対IT出荷計(JEITA)	9.9%	10.5%	
対IT+NW装置	8.9%	9.5%	

2009年度の概観

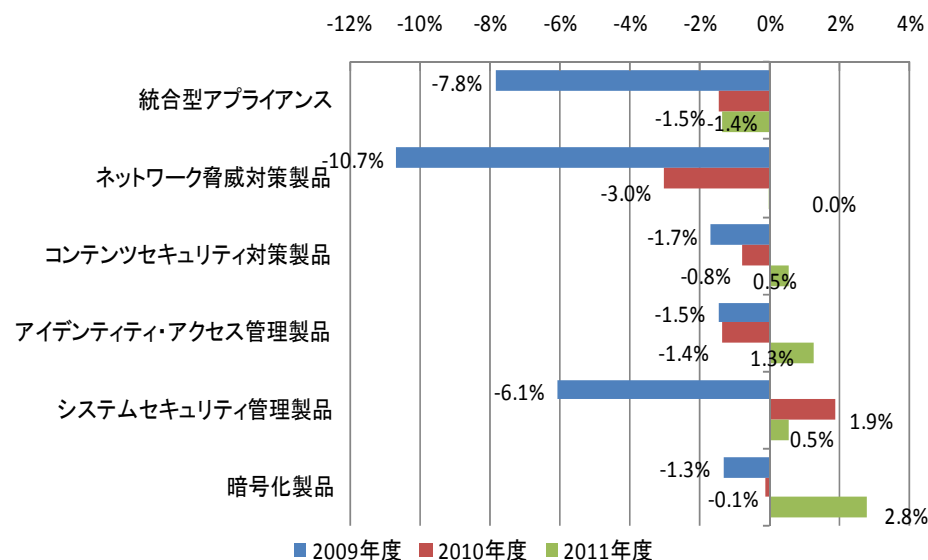
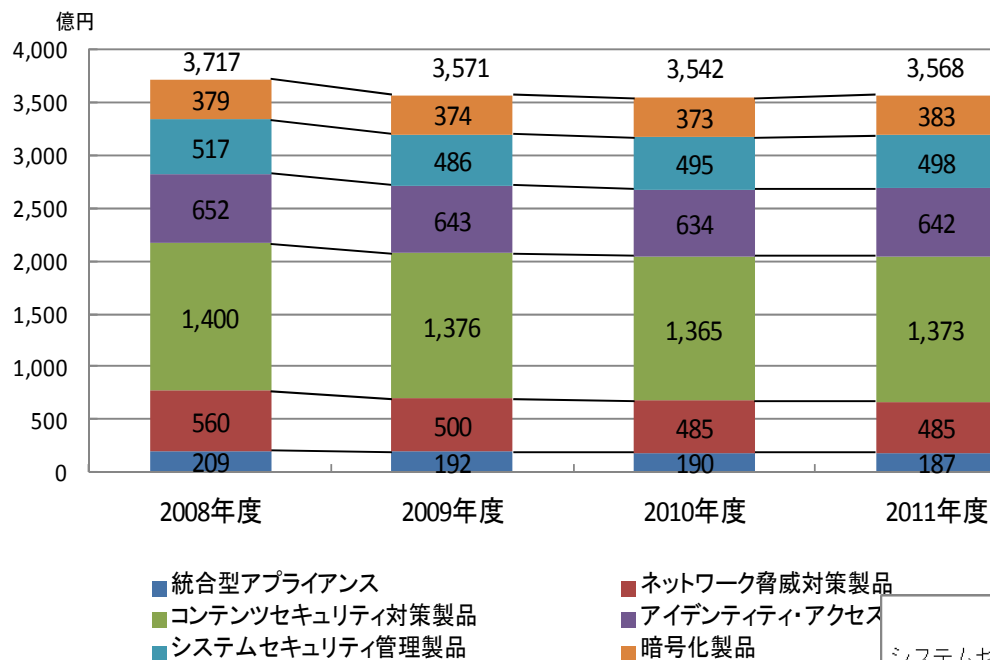
- 国内IT出荷総額(約7.2兆円)の10.5%、
 - 通信機器を含めると9.5%
 - ソフトウェア(6,851億円)とほぼ同規模、
 - サーバ(4,622億円)より大きい
 - パソコン(8,858億円)の約77%
-
- PC出荷金額は9.2%減少(台数ベースは+8.3%)
 - レガシーシステムは19%の減少
 - ソフトウェアは-8.5%、SI開発・サービスは-10.4%
 - ネットワーク機器は-14.0%(ちなみに1/2は輸入品)
-
- 国内IT市場は金額ベースで縮小著しい。
 - 台数ベースではPCは増え、IAサーバは横ばいなので、投資スタンスは弱くないが、デフレは進む。
-
- セキュリティは2009年度-5.2%で、他のITに比較して縮小の度合いは小さい。

情報セキュリティの供給サイドの構造分析

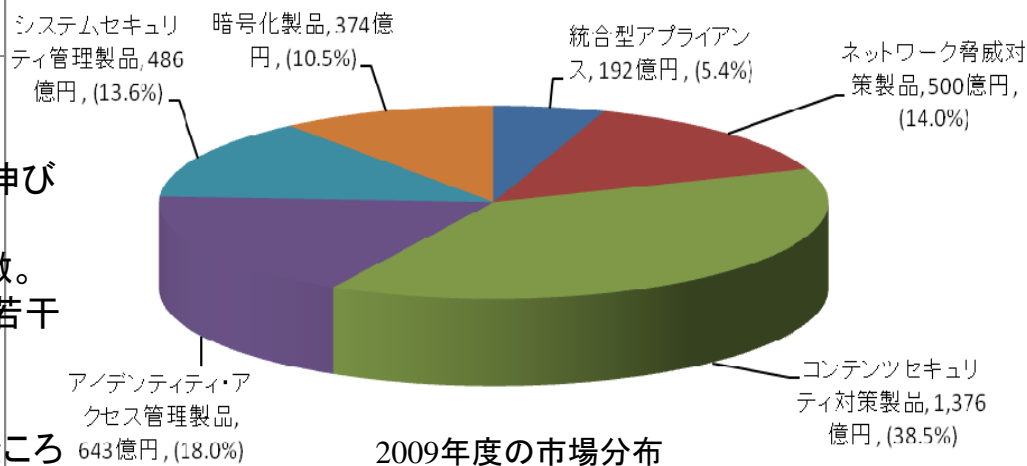
国内情報セキュリティ市場 推計対象企業数と分布	対象企業業態区分								
	海外ベンダ /日本法人	国内ベンダ	流通・販売 業者	SI/NI機能 を有する 二次・三次 販売業者	大手シス テムインテ グレータ	コンサル会 社	サービス 提供事業 者	その他	
	合計	A	B	C	D	E	F	G	H
調査推計対象(含:アンケート回答129件)	367	47	69	38	80	38	21	60	14
有効推計対象	365	47	69	38	79	38	21	60	13
情報セキュリティツール全体 (X)	261	47	63	36	64	28	4	15	4
統合型アプライアンス	72	5	6	13	22	19	2	3	2
ネットワーク脅威対策製品	125	24	12	19	36	22	2	8	2
コンテンツセキュリティ対策製品	146	20	30	23	39	22	2	8	2
アイデンティティ・アクセス管理製品	129	12	24	21	43	21	2	5	1
システムセキュリティ管理製品	130	21	17	24	38	18	3	8	1
暗号製品	83	9	12	13	28	18	1	0	2
情報セキュリティサービス全体 (Y)	242	10	29	17	66	33	21	57	9
情報セキュリティコンサルテーション	149	5	8	7	41	24	18	43	3
セキュアシステム構築サービス	118	5	8	7	46	31	6	15	0
セキュリティ運用・管理サービス	144	8	19	13	45	22	8	26	3
情報セキュリティ教育	85	5	3	5	18	17	7	26	4
情報セキュリティ保険	13	0	0	1	1	5	1	1	4
(参考)									
ツール専業 (X∩ [^] Y)	122	37	42	21	14	2	0	3	3
ツール・サービス兼業 (X∩Y)	139	10	21	15	50	26	4	12	1
サービス専業 ([^] X∩Y)	103	0	8	2	16	7	17	45	8

- セキュリティツールの供給・流通の主体は海外ベンダ、国内ベンダ、SI・NI機能を有する二次・三次販売業者、大手SIer。
- セキュリティサービスの供給主体はセキュリティサービス提供事業者、SI・NI機能を有する二次・三次販売業者、大手SIer。
- 日本市場ではシステムインテグレータの果たす役割が大きい。

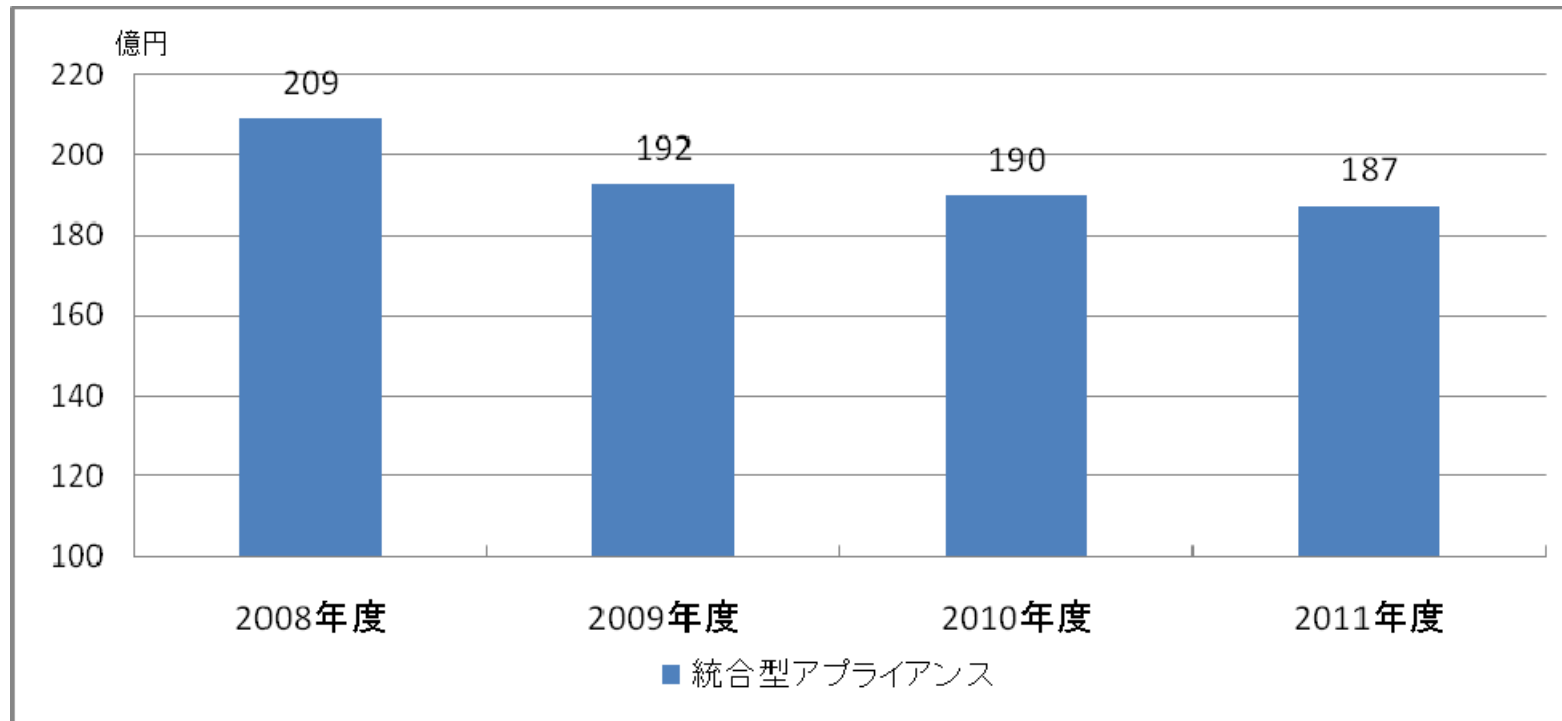
国内情報セキュリティツール市場推移



- 全体として2009年度は-3.9%と市場はシュリンクした。
- 落込みが激しいのはNW脅威対策、統合APL。前年伸びた反動もある。システムセキュリティも同様。
- コンテンツセキュリティ、IAM、暗号の落ち込みは軽微。
- 2010年度は、前半経済が停滞した分、回復が遅れ、若干のマイナス成長となった模様。
- 2011年は震災の影響を乗り越えて若干回復か。
- ツールベンダは総じて楽観視。プラス成長を見込むところが多いという感触。(2011/5月時点→結果もそうなりそう)

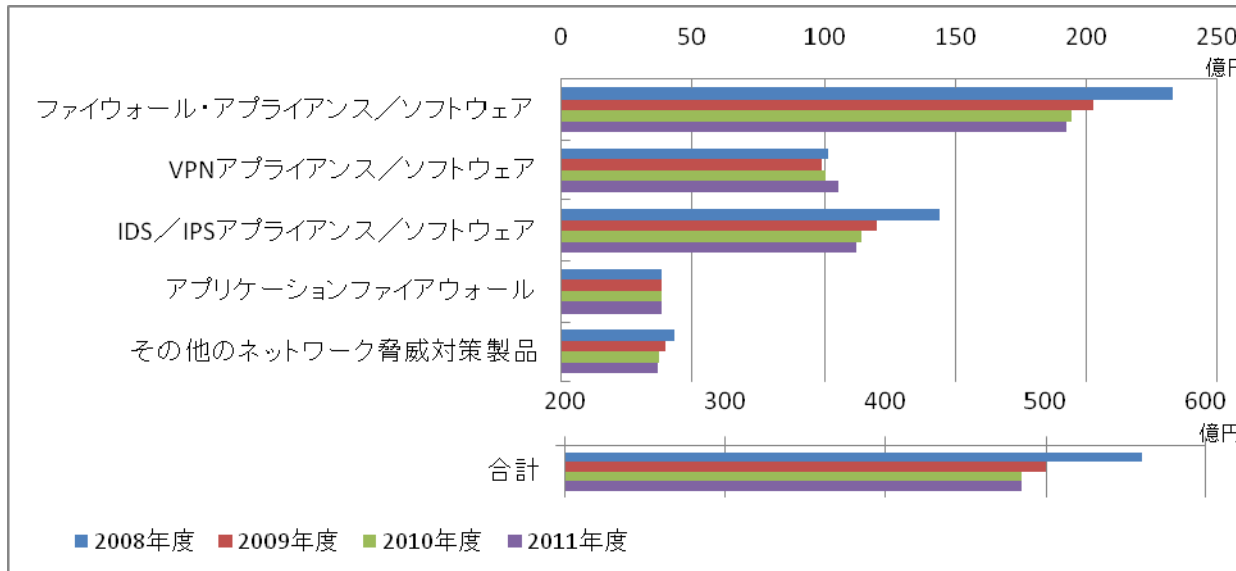


統合型アプライアンス(2009年度)

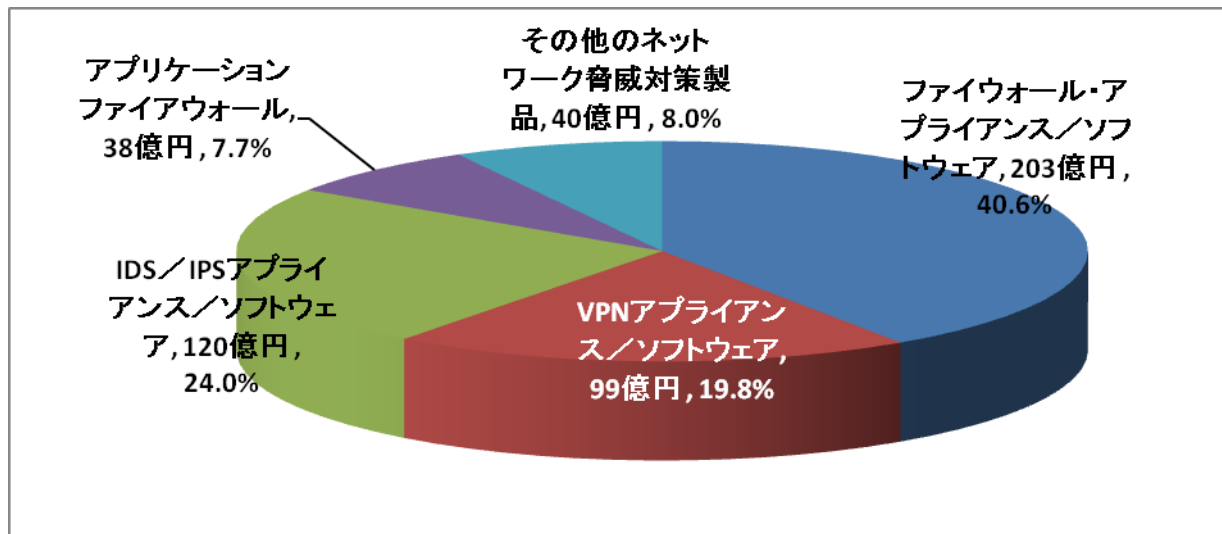


- 2009年度は-7.8%と急減速。不況の直撃をもろに受けた。
- 2010年度(見込み)は-1.5%とほぼ横ばい。2011年度も-1.4%と同傾向。
- 低価格・小型の普及型が中小規模事業所に浸透し、需要一巡。
- 2007-2008はデータセンター、大企業、通信事業者等にハイエンド機の需要。
- 投資サイクルの狭間と景気低迷で今年までは低空飛行が続くか。

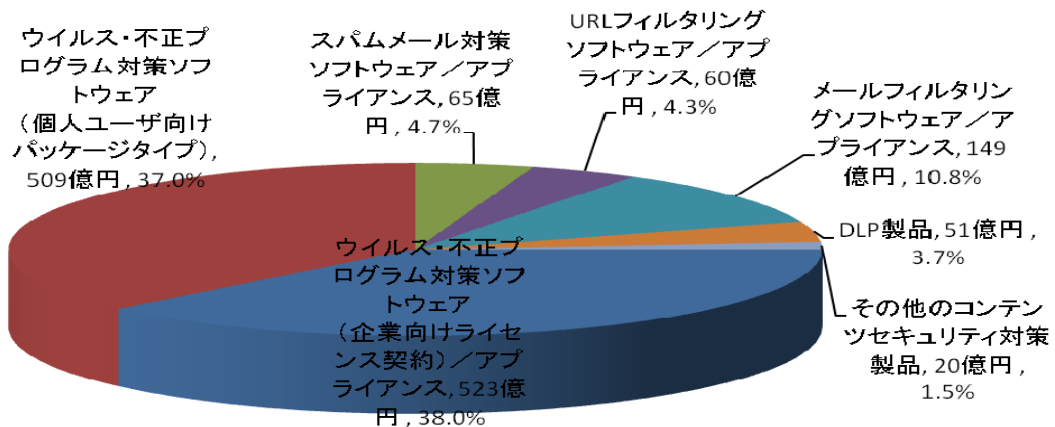
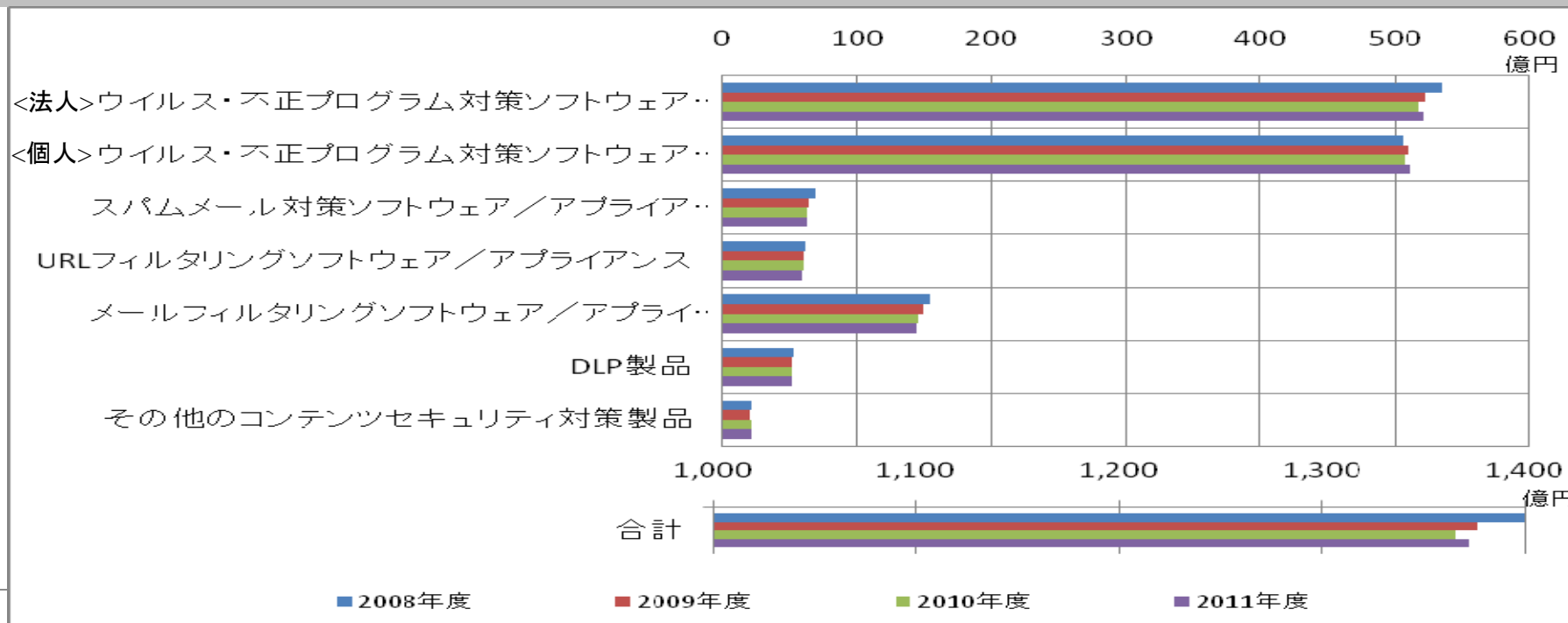
ネットワーク脅威対策製品(2009年度)



- NW脅威対策製品全体としては2009年度は-10.7%とツールの中で最大のマイナス成長となった。
- FW、IDS/IPSは投資サイクルの狭間要因と景気要因のダブルパンチ。IDS/IPSはサービスへの意向の影響もある。
- 外部ネットワークからの脅威に対する対策は比較的浸透し、市場は成熟傾向。
- アプリケーションFW(0.0%)と横ばい。Webアプリケーションへの攻撃の深刻化の反映か。
- VPNは-2.8%と影響は軽微。足回り回線の高速化で出先事業所等との通信網構築と低コスト指向の影響か。(2009年ではクラウドの影響はまだ軽微)



コンテンツセキュリティ対策製品(2009年度) **JNSA**

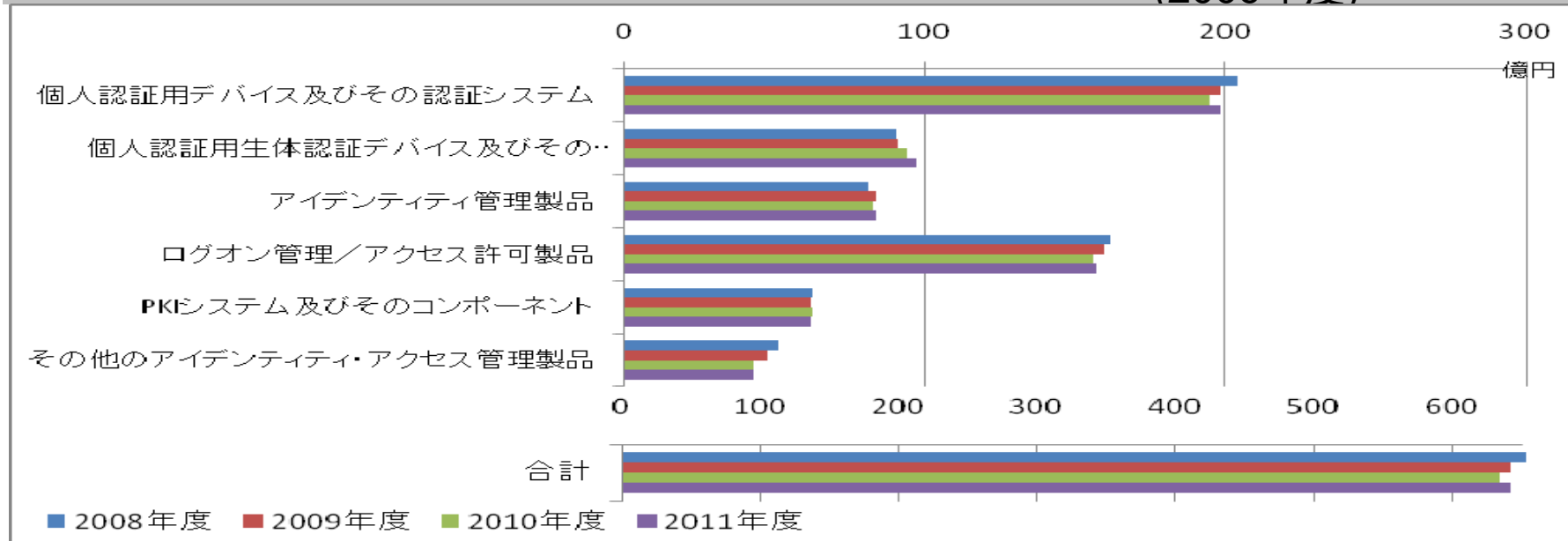


- ウイルス対策ツールは個人向け・法人向けが各500億円規模で拮抗。
- 個人向けは+0.7%とプラス成長を維持。(2010年は-0.4%と微減となったが)
- 規模が大で普及率が高い割には市場の伸びがある。(個人向け:0.4%)
- 今年度からDLPを独立させ、フィッシング対策はその他に統合。DLPは市場立ち上がりかけで足踏みの模様。
- メール、URLフィルタリングはサービスへ移行も。

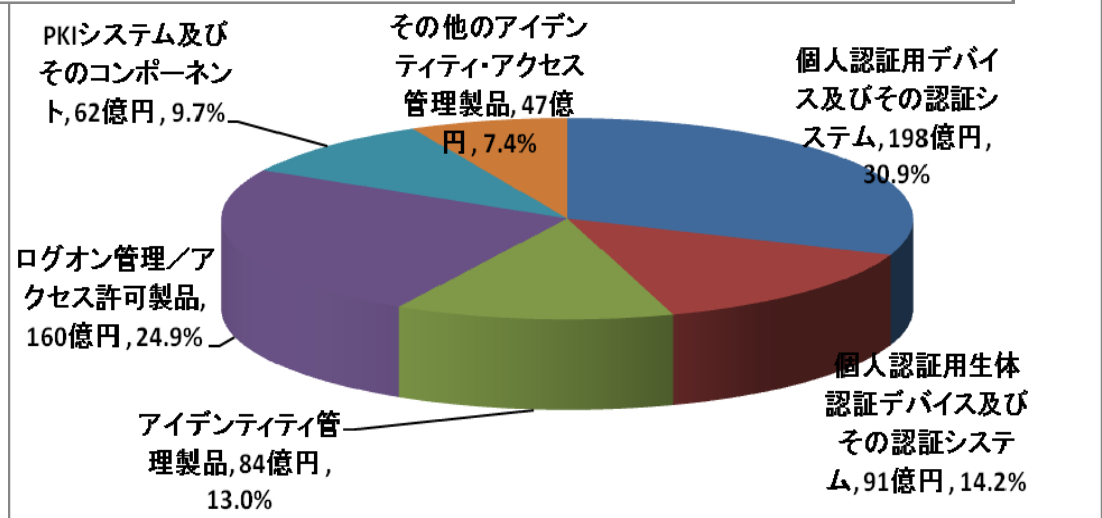
アイデンティティ・アクセス管理製品



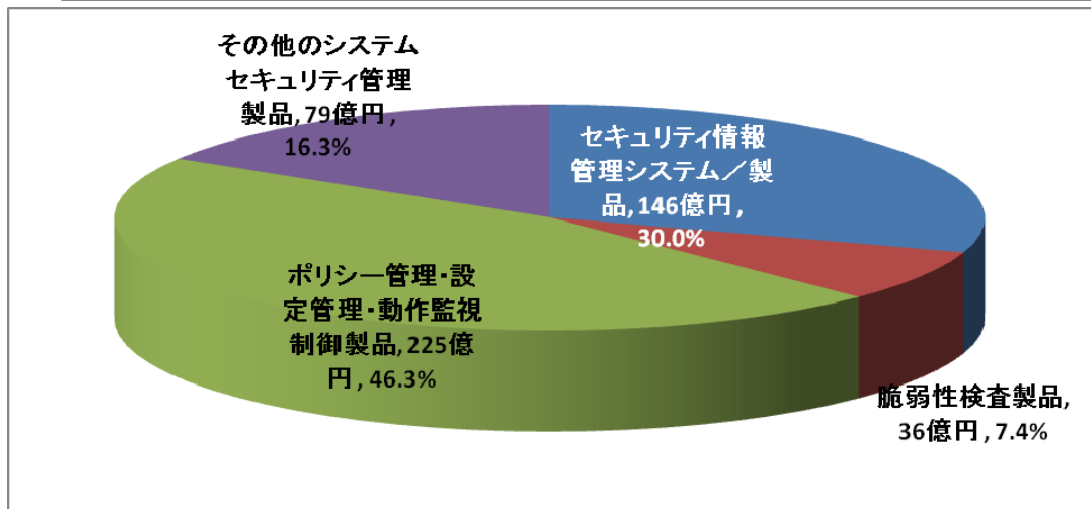
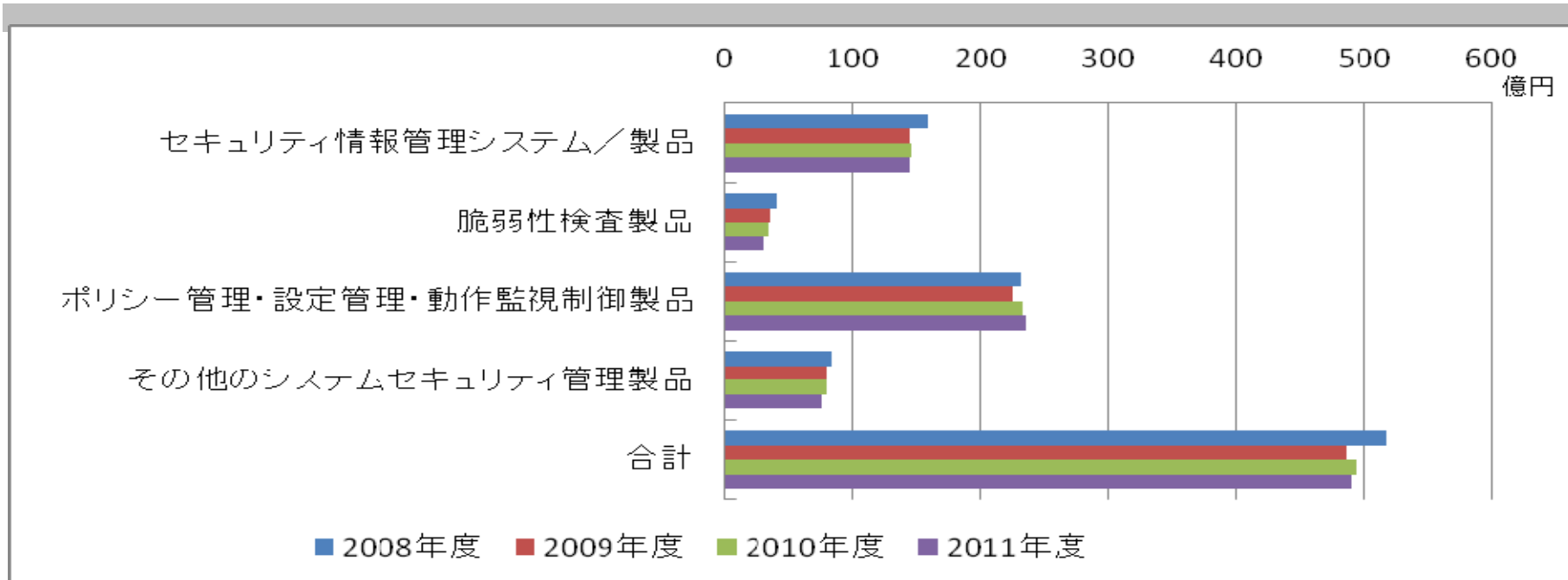
(2009年度)



- 認証・ID管理系は2009年度-1.5%とツールではもっとも縮小度合いが軽微。
- 生体認証は+0.3%、ID管理は+3.3%とプラス成長。
- 情報漏洩対策の一環でアクセス管理対策は比較的抑制が少なかった模様。
- ログ管理の浸透もプラスに作用か。
- 内部統制対応一巡後も、管理策強化の流れはある程度あると見られる。

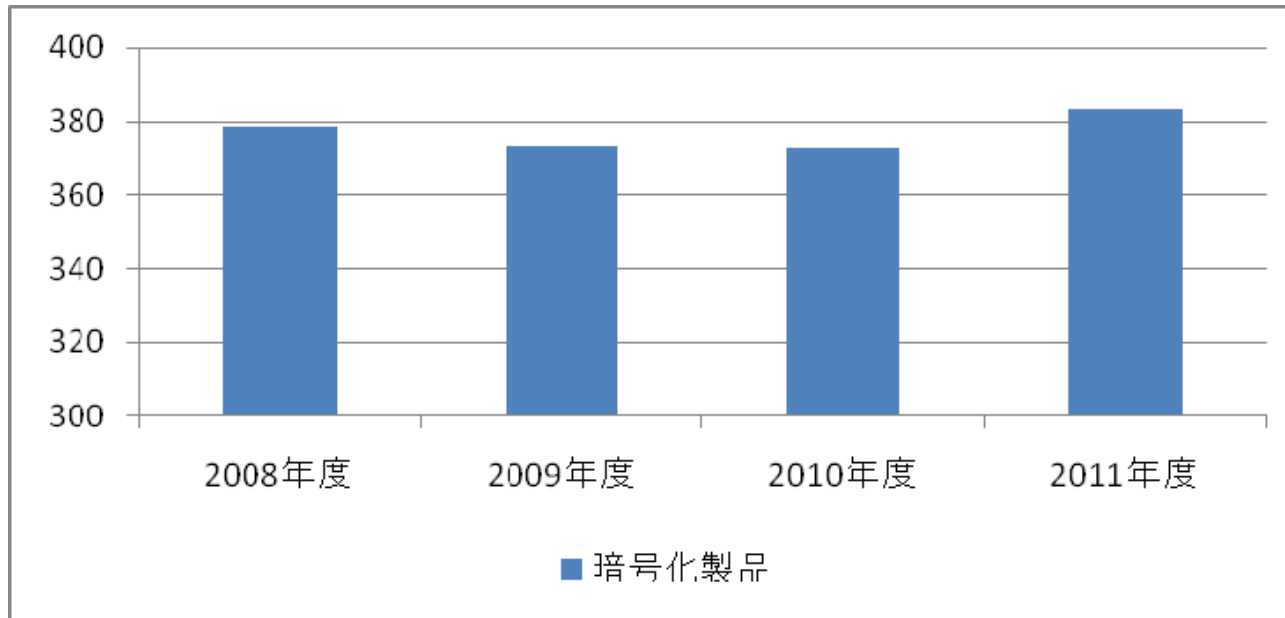


システムセキュリティ管理製品(2009年度)



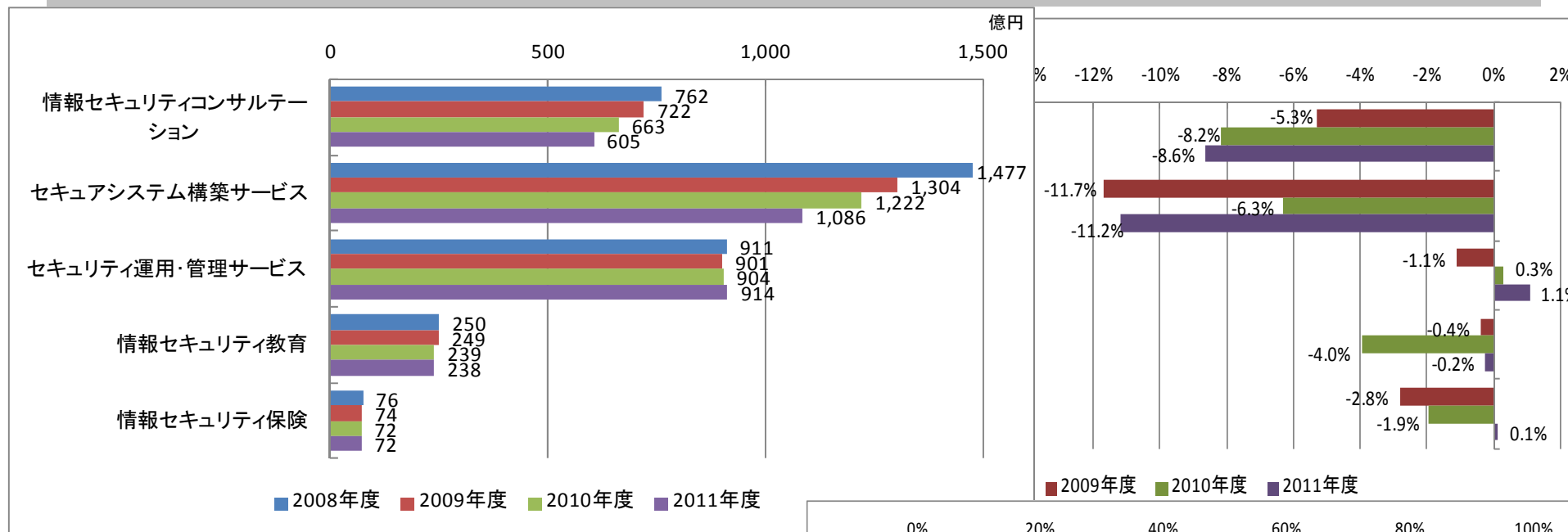
- 2009年は-6.1%と不振だった。前年が比較的高い伸びを示した反動減か。
- 端末のポリシー順守の管理や動作の監視・制御用ツール、検疫NW製品を含む「ポリシー管理・設定管理・動作監視制御製品」は-3.2%と減少幅は小さい。
- SIM/SEM製品はNW投資に左右されるため投資抑制の下では-8.5%と落込み大。
- その他(ログ管理等)も反動減で悪かった。

暗号化製品(2009年度)

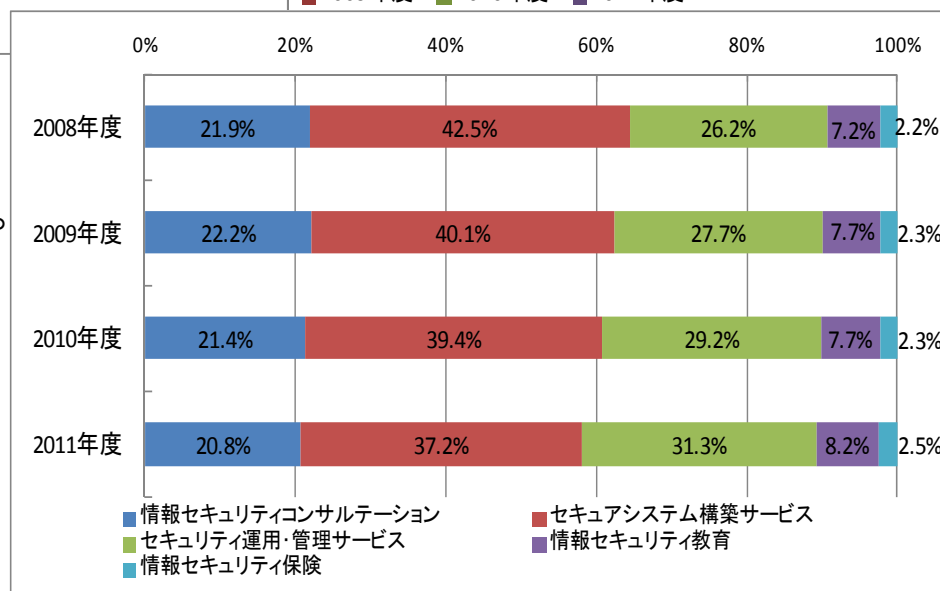


- 今年度から、中分類レベルの市場区分をなくし、単一市場区分とした。
- ほとんどがデータ暗号化製品であるため。
- 2009年は-1.3%と、最も縮小率が軽微だった。
- 組み込み用暗号モジュールが引き続き順調に推移し、個人情報や営業秘密などの漏洩対策を主たる誘因として暗号化需要は引き続き強いことが、不況の影響を限定的としているためと見られる。
- 2010年はほぼ横ばい、2011年には拡大と、他の分野に比較して、市場規模は小さいながらもパフォーマンスは高い状態が続いている。

情報セキュリティサービス市場推移



- システム構築サービスが最大セグメント。セキュアシステム目的の構築需要は縮小傾向に。
- 認証取得を中心にコンサルテーションも縮小傾向。
- 逆に運用・管理サービスは堅調な推移。
- 全体としては、セキュアシステム構築の数字の縮小に引きずられて、2009:-6.5%、2010:-4.6%、2011:-5.9%と縮小が続く。
- 結果、2011年には3000億円を切り、構成比45%まで縮小すると想定される。

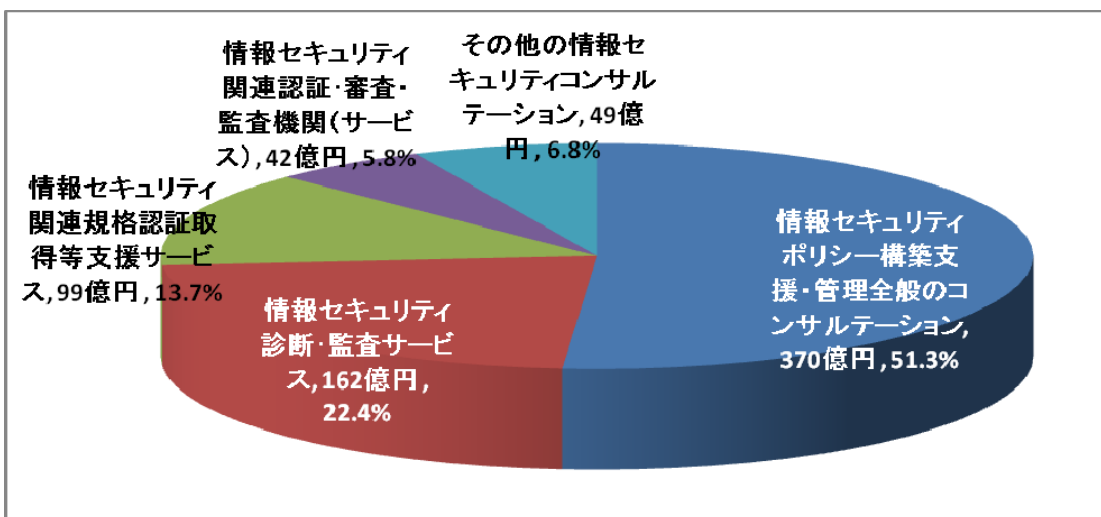
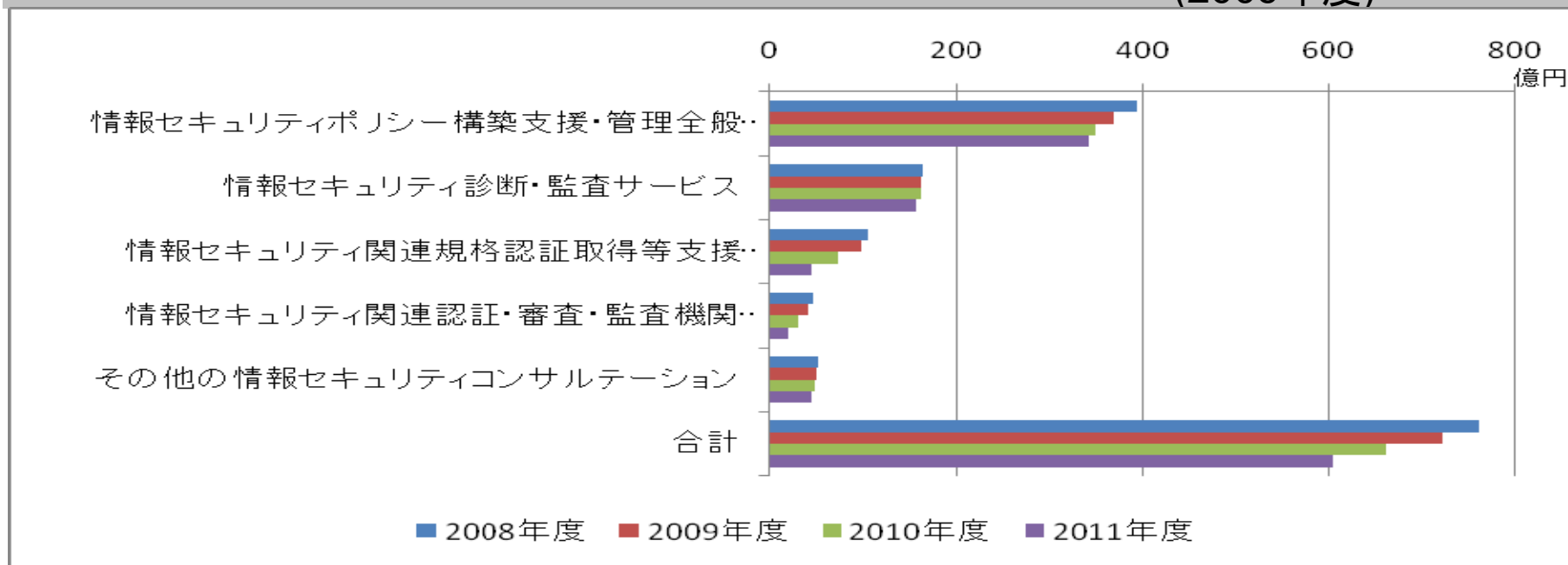


2012.01.25.

情報セキュリティコンサルテーション

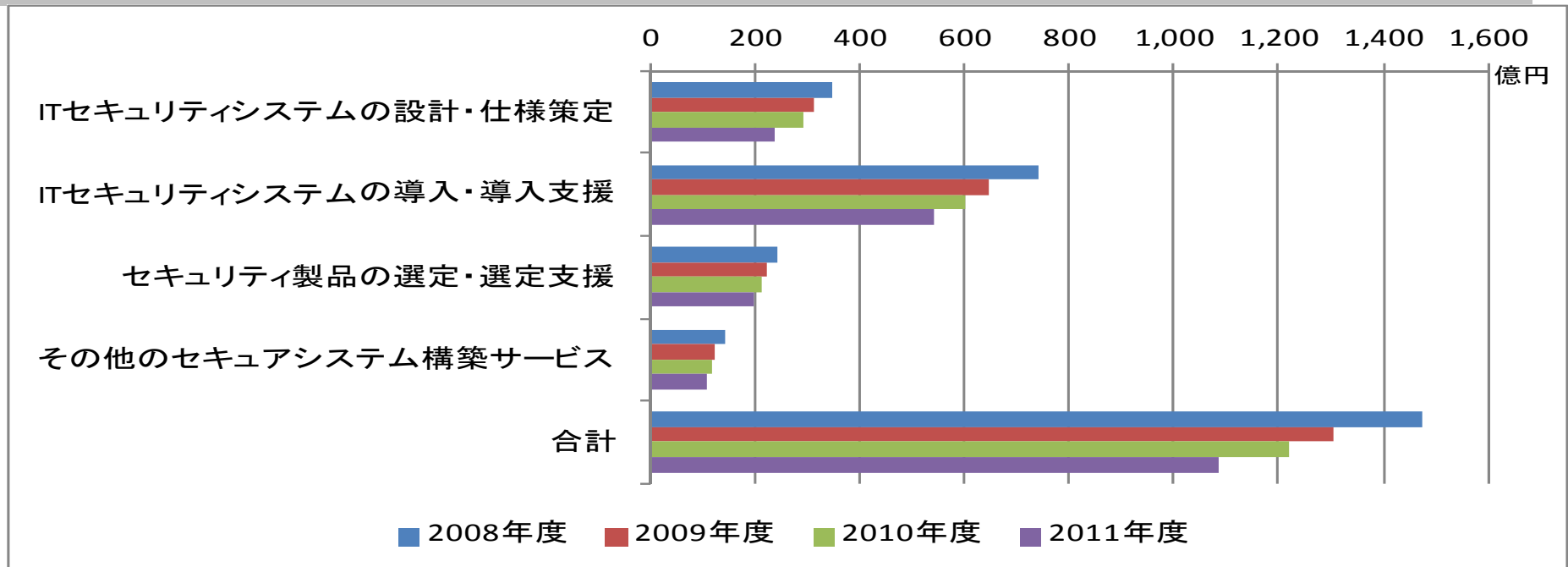


(2009年度)

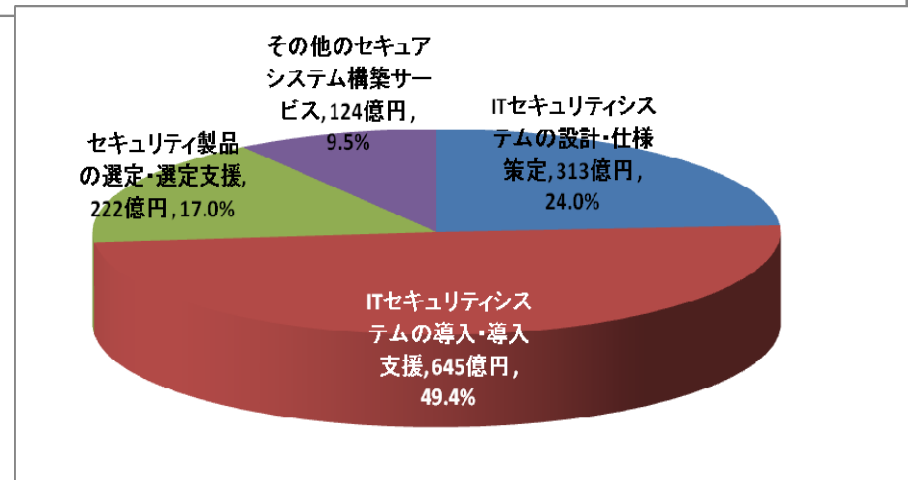


- ISMS、PM等認証取得コンサルが大幅な落込み。つれて審査機関のサービスも激減。2008-2011平均で各-25%以上の減。
- 構築の一巡と経費節減の影響を強く受けた結果。
- ポリシー構築・管理全般のコンサルも、需要一巡と経費節減で漸減傾向。
- 診断・監査サービスは-1.3%と影響は軽微。PDからCAへ段階が進化したとも言える。

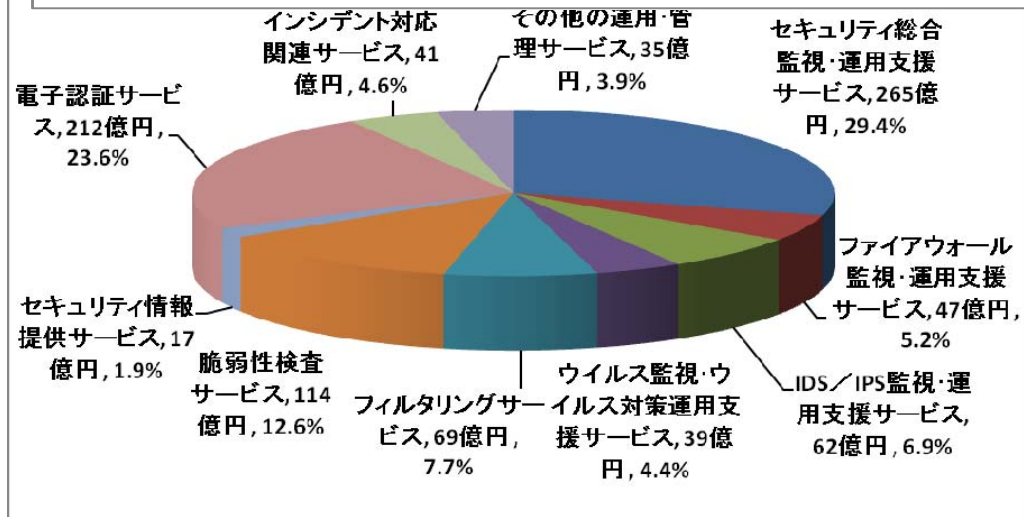
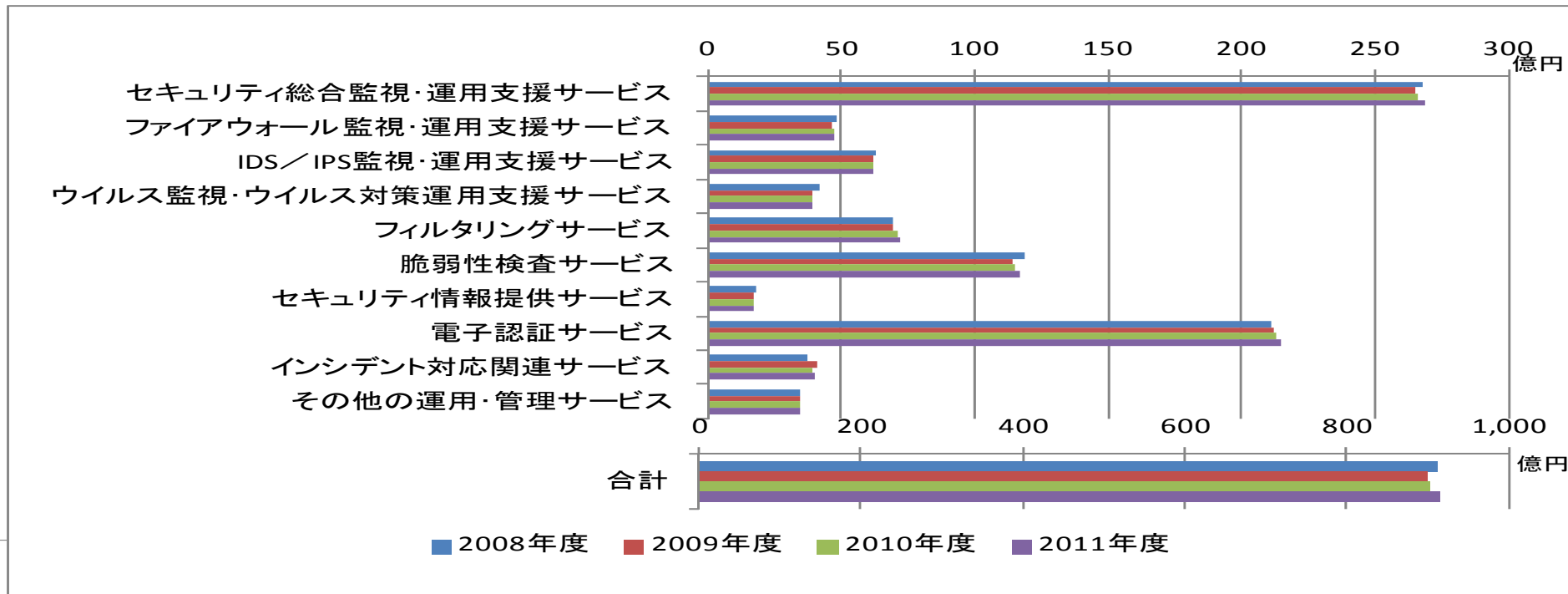
セキュアシステム構築サービス(2009年度)



- 全体で1500億円近い大市場だった(2008)ものが、2011年には1100億円程度へ縮小。
- セキュアシステムの構築が止まったわけではなく、セキュリティ目的でのSIが減少し、SIの中でセキュリティも組込むことが当然となって来たため。
- 中で部分的に製品選定等限定的にサービスを活用する要素が相対的に減少率が少なく済んでいる。
- 数字として表に出にくくなるので、見かけ上更に縮小する可能性がある。

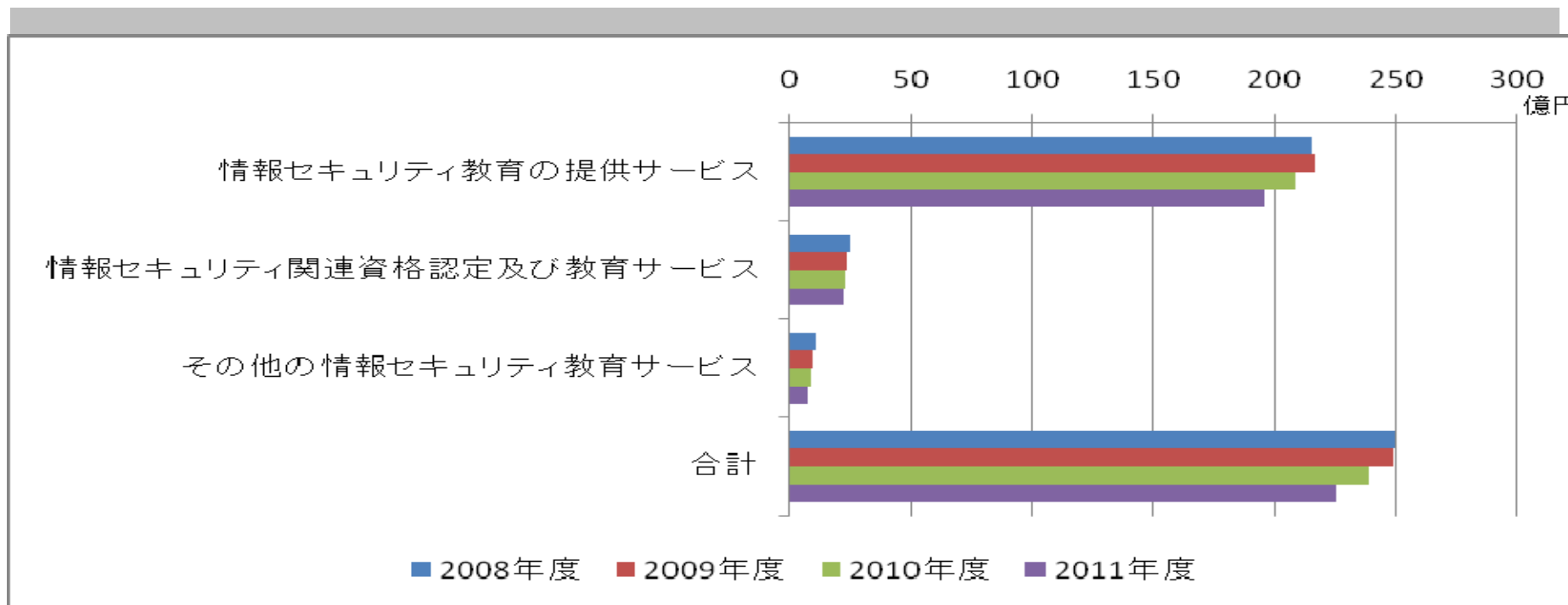


セキュリティ運用・管理サービス(2009年度)

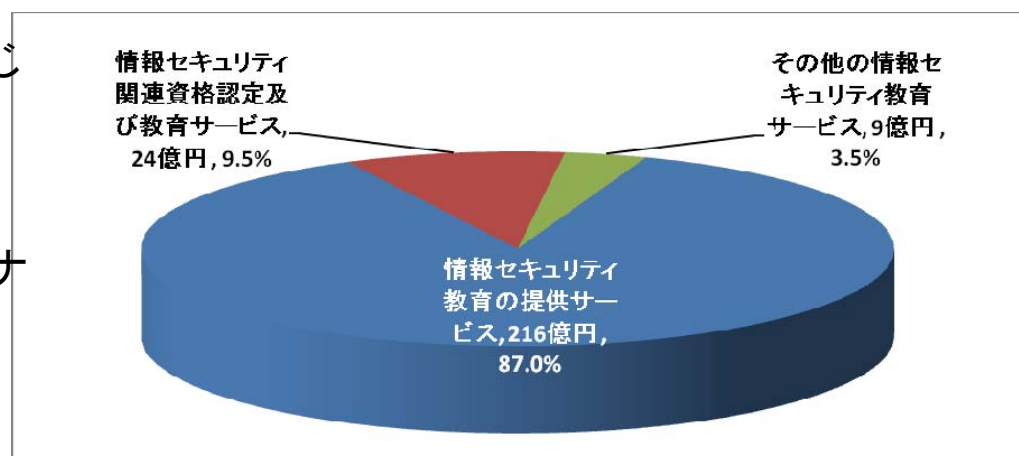


- 全体で900億円以上の大市場に成長した。
- マネージドサービスが54%、プロフェッショナルサービスが23%、電子認証が24%の構成比。
- マネージドサービスはアウトソース志向、プロフェッショナルサービスはインシデント対応、電子認証はJ-SOX関連で伸びていると見られる。
- インシデント対応は2009年に急増後2010年は急減。大規模インシデントの有無に左右される？

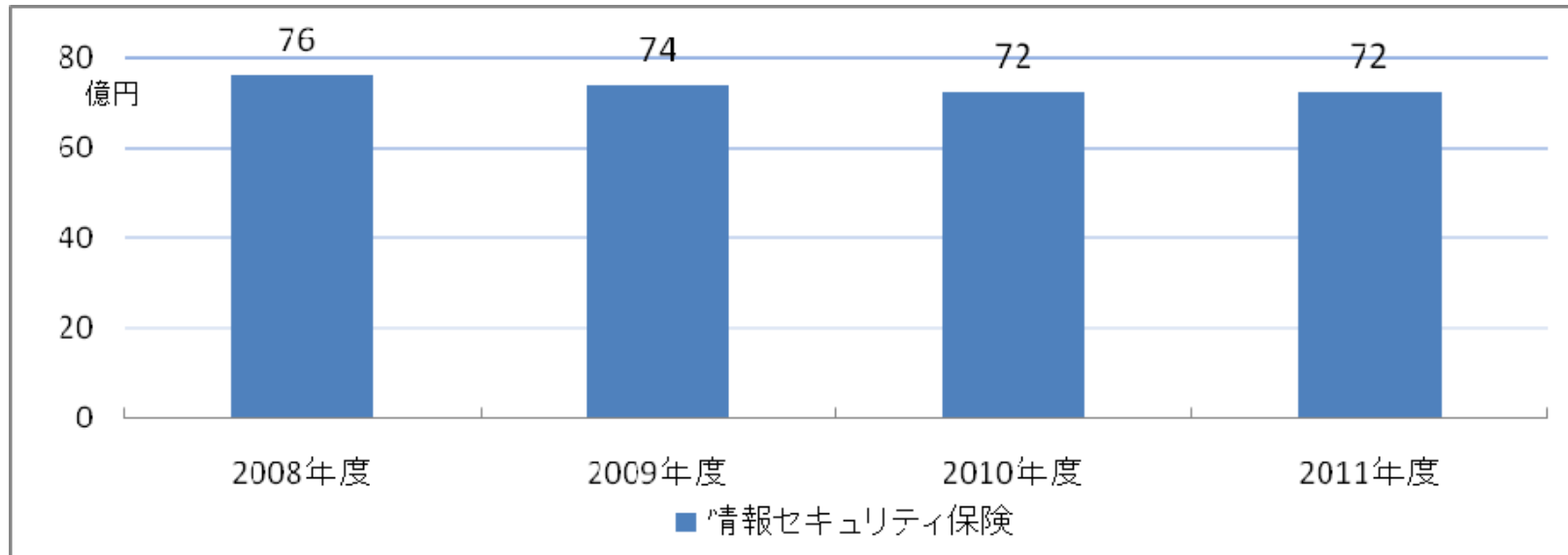
情報セキュリティ教育 (2009年度)



- 2009年は一般の情報セキュリティ教育はかろうじてプラス成長を維持。情報漏洩対策の影響か。
- 資格取得については経費節減や個人の収入減等の影響で2009年はマイナスに。
- 2010年、2011年も、経費節減の中、若干のマイナス成長が続くと見られる。
- 2009年までである程度一巡した面もあるか？
(継続投資が大事だが)



情報セキュリティ保険(2009年度)



- 情報セキュリティ保険は、ほぼ70億円台で市場規模が安定してきたものと見られる。
- ニーズに対して一巡浸透した後は継続需要が中心となるためと考えられる。
- 2009年、2010年と若干マイナス成長となっているが、経済活動規模の停滞の反映であり、誤差に近い程度の変動。

IDC予測との比較



- IDCは、例年、国内情報セキュリティ市場の統計結果を発表し、販売しています。
- 2011年度は、2011年5月31日に発表されました。
- プレスリリースサービスおよびレポート概要は、各々下記URLをご参照ください。

<http://www.idcjapan.co.jp/Press/Current/20110531Apr.html>
<http://www.idcjapan.co.jp/Report/Security/j11200104.html>

- NSF2012の会場では、上記プレスリリースに明示されている数値と、JNSAでの調査結果との比較考察を行いました。
- しかし、公表資料としては、IDCの数字の引用は、同社から拒否されました。分類定義の異なる可能性のある調査との比較は妥当でないという理由が示されています。
- 従い、ここで比較を行うことはできませんので、ご関心ある方は同プレスリリースまたはレポート本体をご参照ください。
- なお、JNSAの理解において、IDCの区分に対応させた分類でJNSAの調査結果を集計しなおすと、右のようになります。

2010年度(億円)	JNSA
アプライアンス	766
アイデンティティ・アクセス管理	548
セキュアコンテンツ／脅威管理	1,360
セキュリティ／脆弱性管理	495
その他セキュリティS/W	373
ソフトウェア合計	2,776
ツール合計	3,542
サービス	3,083
合計	6,625
アプライアンス	11.6%
ソフトウェア	41.9%
サービス	46.5%

2010年度METI調査(Gartner)との比較(1)



大分類	中分類	小分類
ツール (ソフトウェア)	セキュリティアプライアンス (Security Appliance)	アプライアンス-eメールセキュリティ (Appliance — E-Mail Security Boundary)
		アプライアンス-セキュアWebゲートウェイ (Appliance — Secure Web Gateway)
		アプライアンス-セキュリティ情報及びイベント管理 (Appliance — SIEM(security information and event management))
	セキュリティ・脆弱性管理 (Security and Vulnerability Management)	個人向けセキュリティソフトウェア (Consumer Security Software)
		eメールセキュリティ (E-Mail Security Boundary)
		エンドポイントセキュリティ・プラットフォーム (Endpoint Protection Platform (Enterprise))
		セキュアWebゲートウェイ (Appliance Secure Web Gateway)
		セキュリティ情報及びイベント管理 (SIEM(security information and event management))
	ユーザプロビジョニング (UP(User Provisioning))	
	Webアクセス管理 (WAM(Web access management))	
その他のセキュリティソフトウェア製品 (Other Security Software)		
サービス	開発/インテグレーション (Development and Integration)	
	コンサルティング (Consulting)	
	ITマネジメント (IT Management)	
	ソフトウェア製品サポート (Software Support)	
	ハードウェア製品保守サポート (Hardware Maintenance and Support)	

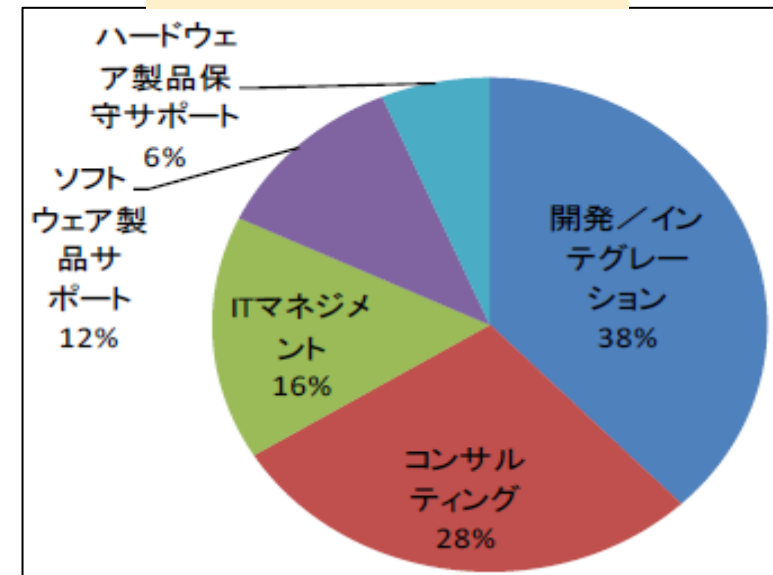
【日本市場】

単位:百万\$

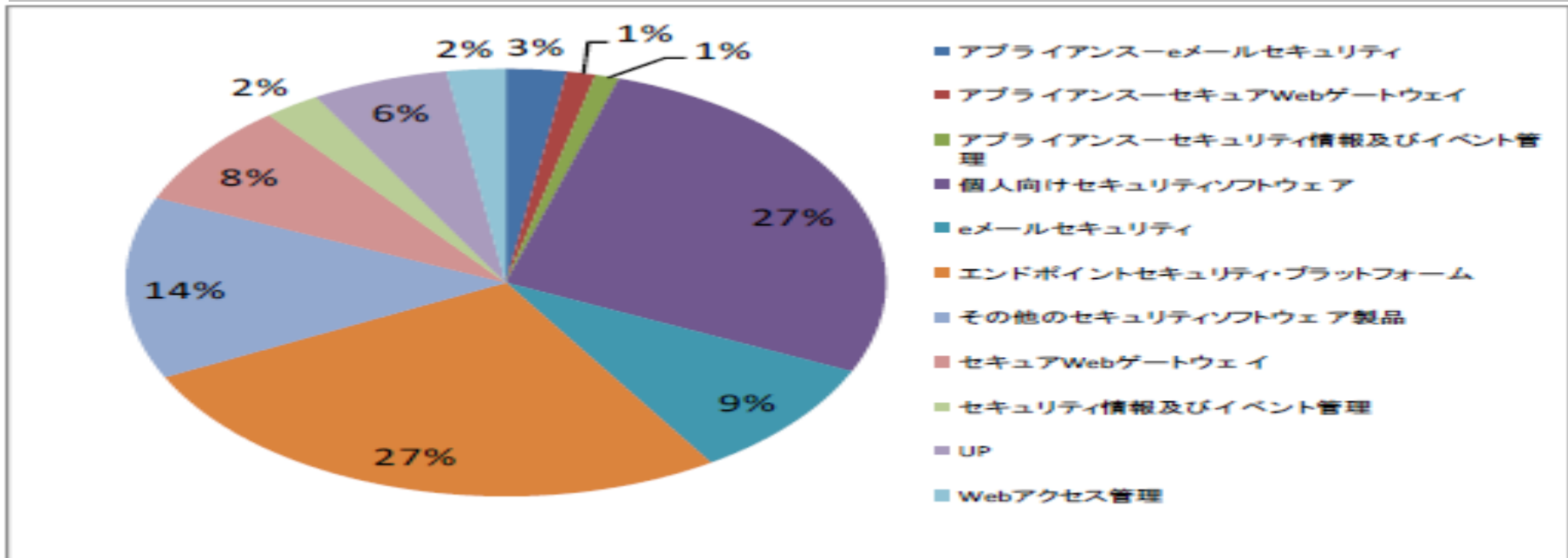
		2008	2009	2010	2011
市場規模	ツール	1,120	1,216	1,277	1,320
	サービス	3,945	4,087	4,307	4,445
	合計	5,065	5,304	5,583	5,765
市場成長率	ツール	16.0%	8.6%	5.0%	3.4%
	サービス		3.6%	5.4%	3.2%
	合計		4.7%	5.3%	3.3%

JNSA調査
 ツール 1,260億円 3,571億円
 サービス3,820億円 3,250億円

【日本のサービス市場構成内訳】



2010年度METI調査(Gartner)との比較(2) **JNSA**



【世界ツール市場・ベンダ別売上高】

ベンダー	2007	2008	2009
Symantec	2,770	2,969	2,949
McAfee	1,225	1,476	1,708
トレンドマイクロ	809	939	982
IBM	608	693	760
EMC	456	479	499
Cisco	321	428	466
CA	459	460	456
Kaspersky	106	274	391
Websense	212	296	314
Microsoft	270	313	313

【日本ツール市場・ベンダ別売上高】

ベンダー	2007	2008	2009
トレンドマイクロ	296	360	406
Symantec	187	178	171
McAfee	98	108	123
IBM	37	40	44
Sun Microsystems	26	27	28
Microsoft	17	19	19
Cisco	12	13	13
F-Secure	9	11	12
Sophos	6	9	11
CA	14	12	11

← チェックポイント? →

EMC/RSA? →

年度別売上高推計値 セキュリティ・ツール	2011年度			2012年度		
	売上高予測値			売上高予測値		
	金額	構成比	前年比 伸び率	金額	構成比	前年比 伸び率
統合型アプライアンス	18,703	5.2%	-1.4%	19,645	5.2%	5.0%
ファイウォール・アプライアンス／ソフトウェア	19,233	39.6%	-1.2%	19,686	39.1%	2.4%
VPNアプライアンス／ソフトウェア	10,520	21.7%	4.5%	10,846	21.5%	3.1%
IDS／IPSアプライアンス／ソフトウェア	11,248	23.2%	-1.4%	11,758	23.3%	4.5%
アプリケーションファイウォール	3,820	7.9%	-0.3%	4,242	8.4%	11.1%
その他のネットワーク脅威対策製品	3,688	7.6%	-1.3%	3,876	7.7%	5.1%
ネットワーク脅威対策製品	48,508	13.6%	0.0%	50,409	13.4%	3.9%
ウイルス・不正プログラム対策ソフトウェア(企業向けライセンス契約)／アプライアンス	52,190	38.0%	0.7%	55,111	38.0%	5.6%
ウイルス・不正プログラム対策ソフトウェア(個人ユーザ向けパッケージタイプ)	51,189	37.3%	0.9%	53,630	37.0%	4.8%
スパムメール対策ソフトウェア／アプライアンス	6,288	4.6%	-0.7%	6,831	4.7%	8.6%
URLフィルタリングソフトウェア／アプライアンス	5,883	4.3%	-1.0%	6,732	4.6%	14.4%
メールフィルタリングソフトウェア／アプライアンス	14,455	10.5%	-0.3%	15,037	10.4%	4.0%
DLP製品	5,154	3.8%	0.4%	5,594	3.9%	8.5%
その他のコンテンツセキュリティ対策製品	2,091	1.5%	0.9%	2,102	1.4%	0.5%
コンテンツセキュリティ対策製品	137,250	38.5%	0.5%	145,034	38.6%	5.7%
個人認証用デバイス及びその認証システム	19,848	30.9%	1.9%	20,227	30.1%	1.9%
個人認証用生体認証デバイス及びその認証システム	9,726	15.2%	3.3%	9,923	14.8%	2.0%
アイデンティティ管理製品	8,386	13.1%	1.2%	9,114	13.6%	8.7%
ログオン管理／アクセス許可製品	15,712	24.5%	0.6%	16,924	25.2%	7.7%
PKIシステム及びそのコンポーネント	6,206	9.7%	-0.6%	6,456	9.6%	4.0%
その他のアイデンティティ・アクセス管理製品	4,312	6.7%	-0.6%	4,539	6.8%	5.2%
アイデンティティ・アクセス管理製品	64,191	18.0%	1.3%	67,184	17.9%	4.7%
セキュリティ情報管理システム／製品	14,594	29.3%	-0.1%	15,539	29.4%	6.5%
脆弱性検査製品	3,607	7.2%	-0.3%	3,648	6.9%	1.1%
ポリシー管理・設定管理・動作監視制御製品	23,647	47.5%	1.5%	25,336	47.9%	7.1%
その他のシステムセキュリティ管理製品	7,923	15.9%	-0.6%	8,394	15.9%	5.9%
システムセキュリティ管理製品	49,771	14.0%	0.5%	52,917	14.1%	6.3%
暗号化製品	38,339	10.7%	2.8%	40,894	10.9%	6.7%
セキュリティツール製品	356,762	100.0%	0.7%	376,083	100.0%	5.4%
		54.9%			55.3%	

2012年度の予測 〈セキュリティ・ツール〉

- 全カテゴリ・セグメントがプラス成長に
- URLフィルタ、AFW、IDMなどニーズの高い分野の伸びが高い
- 大分類レベルではシステムセキュリティ、暗号が高成長
- 全体で3,761億円と、前年比約200億円増加

年度別売上高推計値 セキュリティ・サービス	2011年度			2012年度		
	売上高予測値			売上高予測値		
	金額	構成比	前年比 伸び率	金額	構成比	前年比 伸び率
情報セキュリティポリシー構築支援・管理全般のコンサルテーション	34,130	56.4%	-2.8%	34,795	56.4%	1.9%
情報セキュリティ診断・監査サービス	15,624	25.8%	-3.6%	16,053	26.0%	2.7%
情報セキュリティ関連規格認証取得等支援サービス	4,356	7.2%	-39.8%	4,398	7.1%	1.0%
情報セキュリティ関連認証・審査・監査機関(サービス)	1,933	3.2%	-35.6%	1,912	3.1%	-1.1%
その他の情報セキュリティコンサルテーション	4,501	7.4%	-4.4%	4,500	7.3%	0.0%
情報セキュリティコンサルテーション	60,545	20.8%	-8.6%	61,658	20.4%	1.8%
ITセキュリティシステムの設計・仕様策定	23,522	21.7%	-19.5%	24,752	21.7%	5.2%
ITセキュリティシステムの導入・導入支援	54,376	50.1%	-9.5%	57,437	50.4%	5.6%
セキュリティ製品の選定・選定支援	19,751	18.2%	-7.4%	20,672	18.1%	4.7%
その他のセキュアシステム構築サービス	10,909	10.0%	-5.9%	11,124	9.8%	2.0%
セキュアシステム構築サービス	108,559	37.2%	-11.2%	113,985	37.6%	5.0%
セキュリティ総合監視・運用支援サービス	26,917	29.5%	1.3%	29,162	30.8%	8.3%
ファイアウォール監視・運用支援サービス	4,757	5.2%	0.9%	4,611	4.9%	-3.1%
IDS/IPS監視・運用支援サービス	6,231	6.8%	0.3%	6,752	7.1%	8.4%
ウイルス監視・ウイルス対策運用支援サービス	3,910	4.3%	-0.4%	4,092	4.3%	4.7%
フィルタリングサービス	7,199	7.9%	1.5%	7,862	8.3%	9.2%
脆弱性検査サービス	11,668	12.8%	1.7%	11,690	12.4%	0.2%
セキュリティ情報提供サービス	1,718	1.9%	0.5%	1,575	1.7%	-8.3%
電子認証サービス	21,493	23.5%	0.9%	21,914	23.2%	2.0%
インシデント対応関連サービス	4,016	4.4%	2.8%	3,858	4.1%	-3.9%
その他の運用・管理サービス	3,465	3.8%	-0.7%	3,107	3.3%	-10.4%
セキュリティ運用・管理サービス	91,375	31.3%	1.1%	94,622	31.2%	3.6%
情報セキュリティ教育の提供サービス	20,798	87.2%	-0.05%	21,990	87.6%	5.7%
情報セキュリティ関連資格認定及び教育サービス	2,219	9.3%	-1.6%	2,293	9.1%	3.3%
その他の情報セキュリティ教育サービス	825	3.5%	-1.6%	826	3.3%	0.1%
情報セキュリティ教育	23,841	8.2%	-0.2%	25,109	8.3%	5.3%
情報セキュリティ保険	7,244	2.5%	0.1%	7,417	2.4%	2.4%
情報セキュリティサービス	291,563	100.0%	-5.9%	302,792	100.0%	3.9%
		45.0%			44.6%	
セキュリティツール+サービス	648,326	100.0%	-2.4%	678,874	100.0%	4.7%

2012年度の予測 〈セキュリティサービス〉

- 全カテゴリ、殆どのセグメントがプラス成長に
- セキュアシステムの伸びがかなり高い。投資サイクルの回復を示唆するものか
- セキュリティ教育も回復する。投資マインドの転換を感じさせる。
- 全体で3,028億円と、3000億円台を回復

3.1. 2009～10年におけるネットワークの脅威の動向

3.2. ソーシャル・ネットワーキングサービスの普及とセキュリティ課題

- 情報漏洩の危険
- マルウェア感染源としての悪用

3.3. スマートフォンのセキュリティ

- マルウェアへの感染
- 情報漏洩、プライバシー侵害

3.4. 震災を経て変わるクラウドコンピューティングのセキュリティ課題評価

- 震災支援における無償のクラウドサービスの提供
- クラウドの堅牢性、安全性、耐障害性の再認識
→ 災害復旧、事業継続での有効性の評価
- 社会インフラとしての有効性・重要性の評価

セキュリティ市場調査WG メンバーリスト

ワーキンググループリーダー

2012年1月15日現在

勝見 勉 株式会社情報経済研究所

ワーキンググループメンバ(調査・推計参加者)

菅野 泰彦 アルプスシステムインテグレーション株式会社

佐藤 友治 株式会社ブロードバンドセキュリティ

福岡かよ子 株式会社インテック

檀淵 英久 NTTデータ先端技術株式会社

秋山 卓司 クロストラスト株式会社

佐伯 康雄 日本サード・パーティ株式会社

木城 武康 株式会社日立システムズ

熊谷 裕吾 三井物産セキュアディレクション株式会社

塩見 友規 三井物産セキュアディレクション株式会社

蜂巢 悌史 株式会社km2y

JNSA



NPO 日本ネットワークセキュリティ協会
Japan Network Security Association

JNSA

2012年1月25日

Network Security Forum 2012

<http://www.jnsa.org>
sec@jnsa.org

Thanks!

(独)情報処理推進機構 主任研究員
勝見 勉
t-katsu@ipa.go.jp

株式会社 情報経済研究所
代表取締役 勝見 勉
info-economy@xvg.biglobe.ne.jp